

# 市政ニュース

## 全国からの応募約380カ所から選ばれる 国の天然記念物玄武洞が、日本の地質百選

日本の地質現象のよく分かる所を100カ所を選び出し、そのユニークさを顕彰し、広く知ってもらうため、NPO法人「地質情報整備・活用機構」などが提案する「日本の地質百選」に玄武洞（豊岡市赤石）が選定されました。

全国から候補地を募集し、日本地質学会などのメンバーで構成する選定委員会で、応募のあった約380カ所からまず83カ所が選定されました。残る17カ所は、今後、新たな



日本の地質百選に選定された玄武洞

立候補を受け付け、選定作業が続けられる予定です。なお、県内ではそのほかに六甲淡路断層系、生野鉱山跡の2カ所が選定されました。

## 子育て支援ガイドブックを作成 情報を集約 出産・育児に役立てて

市教育委員会では、このほど子育て支援ガイドブックを作成しました。

このガイドブックには、妊娠期から出産・育児に関する本市の支援施策、乳幼児の健康診査や相談の場所、保育園、幼稚園の情報、医療機関など、子育てに関するさまざまな情報を集約しています。

ガイドブックは、市内の学校・幼稚園・保育園、子育てセンターなどの子育て支援・相談機関に配置しているほか、母子手帳交付時や4カ月児健康診査時に無料で配布しています。数に限りがありますので、市ホームページからダウンロードしてご覧ください。

## 酒米フクノハナの「お田植え式」 「コウノトリ育む農法を採用 秋の豊作を願い幻の酒米を田植え

5月20日、酒米フクノハナのお田植え式が出石町袴狭地区で行われました。

当日は、フクノハナの生産振興や純米酒「コウノトリの贈り物」の関係者らが、今年の豊作を願ってまず手植えをし、その後、田植え機で次々と苗が植えられていきました。酒米フクノハナの国内唯一の生産地として知られる出石地域では、出石フクノハナ生

産部会（代表・本田十世三さん）が「コウノトリ育む農法」を取り入れ、昨年から完全有機肥料・無農薬栽培に取り組んでいます。今後、コウノトリも住める自然環境づくりに貢献する取組みとしても大いに期待されています。

関係者らは「これから雑草や病害虫の対策が大変ですが、管理をしつかりして大切に育てます」と力強く話していました。



フクノハナの苗を手植えする関係者ら

## 豊岡市震災総合防災訓練を実施 過去の教訓を活かして連携を強化 大規模災害に備える

5月26日、大正14年の北但大震災や平成16年の台風23号災害を教訓に、災害時の体制を検証しようとして、豊岡市震災総合防災訓練「を出石町水上地区のひばこホール周辺で実施しました。

訓練は、出石地域を震源とするマグニチュード7.3の地震により、水上地区を中心に死者2人、負傷者110人、家屋の倒壊120棟の被害が出たという想定で、局地的な地震被害への対応をテーマと

して行いました。

会場内に、市役所本庁、出石総合支所および現地の3つの対策本部を設け、各対策本部が連携を取りながら訓練を進めました。

また、消防団や地域の自主防災組織、地元の小学生ら約620人が、負傷者の救出や搬送、避難訓練などに取り組みました。

訓練終了後、中貝市長は「災害は決まった形ではやってきません。想像力を働かせ

て次に何をすべきかを考えて行動してください」と講評しました。



救急活動では、ケガの状態に応じて治療の優先順位を決定するトリアージを行った

## 神戸の中学生から千羽コウノトリが贈られる 放鳥コウノトリのヒナ 元気に巣立ってね

6月2日、コウノトリ文化館に、「千羽コウノトリ」が届けられました。

千羽コウノトリは、神戸市立高倉中学校の2年生129人が製作したもので、生徒たちは、5月に課外授業で同館を訪れ、「コウノトリの野生復帰、環境保全の大切さ」を学びました。そして、今回の放鳥コウノトリのヒナの誕生を知り、ヒナが無事に巣立ちできるように祈



ヒナが無事に巣立つようにと千羽コウノトリが届けられた

りを込めて製作されました。届けられた千羽コウノトリは、同館多目的ホールに展示しています。

## ㈱コカ・コーラホールディングスが五荘小学校に一輪車を寄贈 さあ、いっぱい練習しよう

6月4日、㈱コカ・コーラウエストホールディングス（本社・福岡県）が五荘小学校に一輪車10台を寄贈し、同小学校で贈呈式が行われました。同社は、社会貢献活動の一環で、平成6年から九州・中国地方で一輪車の寄贈を続けており、今年度から近畿2府4県でも寄贈を始め、県内の公立小学校21校に210台を寄贈しました。

五荘小学校では、今年、一

輪車クラブが発足しましたが、台数が不足し、全員に行き渡らないことが悩みでした。

贈呈式では、近畿コカ・コーラボトリングの守都正和相談役が「天気の良い日は、外で元氣いっぱい一輪車に乗ってください」と話すと、児童を代表して谷口明彦くん（4年生）は「一輪車に上手に乗れるように、休み時間にはみんなで頑張って挑戦します」と答えていました。

## 合橋地区公民館が但東総合支所3階にオープン 空きスペースを活用して交流の拠点に

6月1日、合橋地区公民館が但東総合支所3階にオープンし、地元整備委員や区長、行政関係者などが集まり竣工式を行いました。

これまで合橋地区公民館は、市教育委員会但東分室内に併設されており、専用拠点のない施設でしたが、昨年2月に制定した「豊岡市地区公民館整備計画」に基づき、但東総合支所3階の旧議会スペースを活用して整備することとなりました。

旧議員控室は調理実習室・和室に生まれ変わり、旧議場は傍聴席や重厚な内装をそのまま利用し、以前の雰囲気の色濃く残した多目的ホールへ変わりました。

また、県の「県民交流広場事業」を取り入れて、県産木材を利用した交流広場も設けています。

今後、城崎地域では城崎地区公民館が、出石地域では弘道地区公民館がそれぞれ総合

支所庁舎を活用して整備する予定で、合橋地区公民館は、モデル的施設として注目されています。



交流広場の落ち着いたスペースでゆったりとした時間が過ごせます

## 総務省の「頑張る地方応援プログラム」で菅総務大臣が本市を視察 環境と経済戦略の取組みを紹介 地方自立の成功例をPR

総務省が今年度から始めた「頑張る地方応援プログラム」の推進に向け、菅 義偉総務大臣が6月10日、豊岡市を訪れ、コウノトリをシンボルとしたまちづくりの現場を見学しました。

同プログラムは、独自の地域活性化などに取り組みる自治体を国が財政的に支援するもので、このPRのため、菅総務大臣らが全国を回り、

地元首長らと意見交換をしています。

当日、菅総務大臣は、百合地区やコウノトリ文化館でコウノトリを見学した後、文化館で地元の農家や企業などと環境経済戦略の取組みについて懇談するとともに、豊岡かばんの特別展示やコウノトリ本舗を視察しました。

菅総務大臣は「環境と経済を組み合わせた成功事例であ



地元の農家や企業の代表と懇談する菅総務大臣（写真中央）